

日本のドキュメンタリー映画企画が応募できる主な国際的な助成金
(2013年1月作成)

Alter-Ciné Foundation (カナダ)	アフリカ、アジア、ラテンアメリカ出身の若い映像作家のドキュメンタリー企画に毎年1万カナダドルを授与。社会的・経済的な自由、女性の人権、文化芸術表現の自由など、人権や自由を題材とした企画。過去12年間で75カ国から1107企画の応募があり、39人(うち女性17名)の映像作家が助成を受けている。	<p>Deadline: Aug. 15</p> <hr/> <p>Address 5371 avenue de l'Esplanade H2T 2Z8 Montréal (Québec), Canada</p> <hr/> <p>Web: www.altercine.org</p> <hr/> <p>Email: alter_mlink.net</p>
AND (Asian Network of Documentary) Fund (韓国)	韓国を含むアジアのドキュメンタリー企画に500万ウォンか1000万ウォンの2種類の助成金がある。2010年は14企画が授与。このほか、韓国国内の配給を支援する助成金もある。受賞者はプサン国際映画祭に招かれ、世界のバイヤーや関係者とのミーティングやセミナーに出席する機会を得られる。	<p>http://acf.biff.kr/Template/Builder/00000001/page.asp?page_num=1891</p> <hr/> <p>Deadline: May 10</p> <hr/> <p>E-mail : and@biff.kr</p>
Bertha Britdoc Connect Fund (英国)	ドキュメンタリー映画のプロモーション・広報のためのファンド。現実を批判的に捉え、法律、政策、行政が変わるよう、観客に行動を起こさせるような優れた宣伝・観客動員計画に5千~5万ポンドの助成。年2回授与、2012年の第二期は8件。	<p>締め切り : 2013年3月4日</p> <p>http://britdoc.org/real_funds/bertha-britdoc-connect-fund</p>
Bertha Britdoc Documentary Journalism Fund (英国)	報道系長編(60分以上)ドキュメンタリー企画に授与される。時代を映し出し、不正を告発し、報道されない社会問題や過去にカメラが入りにくい世界を照らす作品。5千~5万ポンドの助成。応募から6週間で結果発表。	<p>http://britdoc.org/real_funds/bertha-britdoc-documentary-journalism-fund</p>
Chicken and Egg Pictures (米国)	助成金を授与することで女性の映像制作者を支援する映画製作会社。社会正義、環境、人権問題を扱い、映画づくりの技術に長けている制作者を求む。(これまでの受賞企画はすべてアメリカの題材のようだ)	<p>Address 162 Fifth Ave, Suite 901 NY 10010 New York, USA</p> <hr/> <p>Web: www.chickeneggpics.org</p> <hr/> <p>Email: info_chickeneggpics.org</p> <p>Deadline: early spring</p>

Cinereach (米国)	創造性、視覚的な芸術性を重視し、人物中心の長編企画。フィクション、ノンフィクションを含む。企画に応じて 5,000US ドル～50,000US ドルまでの資金提供可。総額 50 万ドル。資金の内容は企画開発、製作、ポスト・プロダクション、観客への広報宣伝、配給のどの領域でも可。2012 年は 22 の企画が選ばれた。アメリカ社会を題材にしたものが多い。	<p>Deadline: 9 月頃</p> <hr/> <p>Address 126 Fifth Avenue, 5th Floor 10011 New York, USA</p> <hr/> <p>Web: www.cinereach.org/grants</p> <hr/> <p>Email: grants@cinereach.org</p>
The Fledgling Fund (米国)	社会問題を扱うメディアプロジェクトの支援を通して弱者とその家族やコミュニティの生活向上を目的とする。トピックは環境問題、若い女性の地位向上、健康、移民、制度的な貧困など。広報キャンペーンやコミュニティに根差した活動が優先。平均 3 万ドルほどの助成金。米国ベースの事業主体で、外国から応募する場合は米国のスポンサーが必要。	<p>Deadline: Fall / Spring</p> <hr/> <p>Address 162 Fifth Avenue Suite 901 NY 10010 New York, USA</p> <hr/> <p>Web: www.thefledglingfund.org</p> <hr/> <p>Email: info@thefledglingfund.org</p>
The Ford Foundation (米国)	国際的な NPO 慈善団体。個別の組織団体を支援するプログラムがあるが、その他、メディア・プロジェクトや新しいデジタル技術の画期的利用、メディア製作・配給・上映の新しい事業モデルの提案なども支持する。年間を通して申請を受け付け中。日本での活動には助成していない。	<p>Address: 320 East 43rd Street NY 10017 New York, USA</p> <hr/> <p>Web: www.fordfound.org</p>
Gucci Tribeca Documentary Fund (米国)	社会変革を促し、主流メディアが描かない問題に光をあてるような長編ドキュメンタリー企画に対し、完成資金を提供。製作中あるいはポスト・プロダクション段階の企画に 1 万ドル～2 万 5 千ドルほど。トライベッカ映画祭の関連事業。	<p>Deadline: 2/5/2013</p> <hr/> <p>Address 375 Greenwich Street NY 10013 New York, USA</p> <hr/> <p>http://www.tribecafilminstitute.org/gucci_documentary/</p> <hr/> <p>Email: documentary@tribecafilminstitute.org</p>
Impact Partners Film	現代世界の社会問題についての企画を助成。年間を通して公募。	<p>www.impactpartnersfilm.com</p>

ITVS International Initiative (米国)	米国外の制作者からの企画を募集。米国テレビ (ITVS) での放送機会を提供。米国外の主題、通常放送時間 (1 時間) 枠に収まる企画。最終決定まで 5 カ月かかることもある。総応募本数の 1 ~ 2 % の難関。これは助成金ではなく、共同製作のための一般公募。	Deadline: 特になし <hr/> http://www.itvs.org/funding/international <hr/> Email: karolyn_wong@itvs.org
The Martín-Baró Fund (米国)	暴力と政治的抑圧の結果生じた精神衛生上の問題を画期的な方法で扱うプロジェクトに授与される助成金。草の根的なコミュニティ運動優先。年間 6 ~ 8 企画を助成。	May 1 st より本申請の前の問い合わせ可。 <hr/> Address Post Office Box 302122 MA 02130 Jamaica Plain USA <hr/> www.martinbarofund.org
Movies that Matter Support Program (米国)	アフリカ、アジア、ラテンアメリカ、中東、東欧において人権問題を扱った映画の上映事業の頻度と広がりをサポートする。最大 5 千ユーロの事業運営資金が授与される。アムネスティ・インターナショナルの関連事業。	http://www.moviesthatmatter.nl/english_index/international/support_programme/ <hr/> Deadline: 4 月半ば
PUMA Creative Catalyst Award (英国)	ドキュメンタリー企画の開発のための資金援助。年間 20 企画に各最大 5 千ユーロ授与。製作の早い段階にある企画が、プレビュー用の短い予告編を制作できるように。特に PUMA ヴィジョンの「安全・平和・クリエイティブ」というキーコンセプトに合う企画が優先させる。	Deadline: Dec. 1 <hr/> Address: Channel 4 Britdoc Foundation, PO Box 60415, LONDON E2 6WQ. <hr/> http://puma.britdoc.org/pages/683/view
PUMA Creative Impact Award (英国)	世界で最も大きなインパクトを与えたドキュメンタリーに授与される賞。賞金 5 万ユーロは、配給と宣伝のためにあてられる。公募式。	puma.britdoc.org
The Rockefeller Foundation (米国)	NY に本部を置く主要慈善団体・基金。近年のテーマは「smart globalisation」。人間の生活を改善する技術や道具が世界中のなるべく多くの人々に行きわたること。過去に数多くのドキュメンタリー制作に援助をしてきた。	Address: 420 Fifth Ave NY 10018 New York USA <hr/> www.rockfound.org
Sundance Institute - Sundance Documentary Fund (米国)	サンダンス映画祭でも有名なサンダンス・インスティテュートの中でも重視されているドキュメンタリー・プログラム。人権問題、表現の自由、社会正義、自由な市民生活をテーマとするドキュメンタリー映画を支持する。助成額は 2 万ドル~10 万ドル。年間 1700~2000 も	Deadline: 2 月と 7 月の年 2 回 (2/5/2013) <hr/> Address 8530 Wilshire Blvd.

	の企画の中から 45～55 本ほどが選ばれる。分野は「調査・企画開発」（上限 2 万ドル）、「製作・ポストプロダクション」（上限 5 万ドル）、「観客動員」の 3 つ。	90211 California Beverly Hills USA <hr/> http://www.sundance.org/programs/documentary-fund/ <hr/> Email:dfp@sundance.org
TFI Documentary Fund (米国)	キャラクター主体の長編ドキュメンタリーの支援が目的。スポンサーはケーブルテレビの HBO。資金援助と開発協力のアドバイスのほか、ファンドの受賞者は HBO の幹部との面会が約束される。製作中あるいはポスト・プロダクション段階の企画。1 万ドル以上の助成金額。3 万ドルのスポーツ賞 (TFI/ESPN Prize) もあり。	Deadline 2013 年 11 月 <hr/> http://www.tribecafilminstitute.org/filmmakers/tfi_documentary/ <hr/> Email documentary@tribecafilminstitute.org <hr/> Address Tribeca Film Institute 73 Spring St. Suite 406 New York, NY 10012 Tel 212 274 8080 Fax 212 274 8081
TFI New Media Fund (米国)	社会派ノンフィクションのメディアプロジェクトでビデオゲームやモバイルアプリ、ネットメディアなどクロスプラットフォームで展開する事業企画の助成。5 万から 10 万ドル。	http://www.tribecafilminstitute.org/filmmakers/newmedia/
Women in Film Foundation's Film Finishing Fund (米国)	女性による画期的な映画の完成と上映を支援する。1500 ドル～5000 ドルの賞金（本数は年によって異なる）と、オンライン編集、音響ミキシング、色彩補正、クローズド・キャプションなどの技術サービスを協賛。今までの受賞者はほとんどが米国を拠点としている。	Deadline: 30/04 <hr/> Address 6100 Wilshire Blvd. Suite 710 CA 90048 Los Angeles USA <hr/> Web: www.wif.org <hr/> Email:foundation_@wif.org

文責：藤岡朝子（ドキュメンタリー・ドリームセンター）
EDN Financing Guide やウェブサイトなどを元に作成しました。
2013-1-31